

Contents

就任のご挨拶

院長 山本 順司

教えてドクター！ 整形外科

樺山 尚弘

診療科のご紹介

消化器内科 平野 賢二

外科 黒川 敏昭

令和4年度 新任医師のご紹介



vol.77
2022.5



医療連携・患者支援センター

〒108-8606 東京都港区高輪3丁目10番11号

TEL: 03-3443-9576 FAX: 03-3443-9570

<https://takanawa.jcho.go.jp/>

病院理念

心のこもった医療を安全に提供します。

院長就任のご挨拶

JCHO東京高輪病院 院長 山本 順司



この度、東京高輪病院に着任いたしました山本順司と申します。東京大学昭和56年卒業で、専門は消化器外科（肝胆脾）です。30歳代中盤から国立がんセンター中央病院（現 国立がん研究センター中央病院）と癌研病院（当初大塚、2005年からがん研有明病院）で19年間、防衛医科大学校病院で10年間、肝胆脾外科の外科診療に従事しました。その後は新東京病院（松戸）と茨城県立中央病院で4年間副院長として働き、診療をしながら病院の運営管理について学びました。肝胆脾がんの手術は8時間以上かかるものも多く、もともと体力があるほうではないので、健康維持と業務対応のために月間100kmを目標にジョギングをしています。座右の銘は欲張って「忘己利他」と「誠実」の2つです。

本院はJCHO設立時から高輪地区で「求められる医療」を提供してきました。近隣に高度専門医療センター、大学附属病院が多い地域に立地するため、医療部門については地域包括ケア病床を備え、医療連携・患者支援センター、訪問看護ステーションを設置することで、大規模病院との連携と周辺の診療所や介護施設との相互連携を通して、地域医療に貢献しています。大規模再開発など区中央部での人口増が予想される地区に立地することを踏まえ、健診部門（健康管理センター）の整備を行い、「未病」の観点からも貢献してまいります。

いうまでもないことですが、診断・治療法の多様化・複雑化、高齢化や西欧化による疾病構造の変化、患者さん対医療者関係の変容、多職種による診療など、医学・医療は日進月歩で進化しています。また2024年4月から始まる医師の働きかた改革により医療の提供の仕方は大きく変わることになるかもしれません。当院ではこのような医療環境の変化に対応しつつ、地域に必要とされる病院を目指して成長していきます。

「忘己利他（もうご りた）」は伝教大師最澄の「己を忘れて他を利するは慈悲の極みなり」という言葉に由来します。自分のことは後にして、まず人に喜ぶことをする、そこに自分の幸せがあるのでという意味らしいです。病院として周辺の住民の皆様、病院・診療所の先生方、スタッフの皆様方に「東京高輪病院があつて良かった」と思っていただけるよう「もう懲りた」となることなく、職員一同全力で取り組んでまいりますので、従前にも増してご指導、ご支援のほど何卒よろしくお願ひ申し上げます。

出身大学・最終学歴：東京大学 昭和56年卒

資格：日本外科学会 専門医・指導医、日本消化器外科学会 専門医・指導医・評議員・がん外科治療専門医

日本肝胆脾外科学会 専門医・高度技能指導医・評議員

専門分野：消化器外科（肝胆脾外科）

得意とする診療領域：肝胆脾悪性腫瘍の外科治療（特に肝門部領域胆管癌、脾癌）

今後取り組みたい分野・治療：脾癌の治療（早期発見、治癒率向上など） 肝胆脾外科治療技術の次世代への継承

やまもと
じゅんじ
山本 順司

消化器外科（肝胆脾外科）



教えてドクター!

整形外科

手外科診療お任せください

2022年4月よりお世話になります。整形外科の櫻山尚弘(かしやまたかひろ)です。2013年から2年間勤務させて頂いて以来、久しぶりの東京高輪病院。懐かしい気持ちでいっぱいですが、食堂がなくなっていたのがショックでした。整形外科一般に関してはもちろんのこと、専門である手外科領域、さらにはエコーや手関節鏡を用いた治療を行っていきたいと思いますので、何卒宜しくお願い申し上げます。



かし やま たか ひろ
櫻山 尚弘

〈主な業績の紹介〉

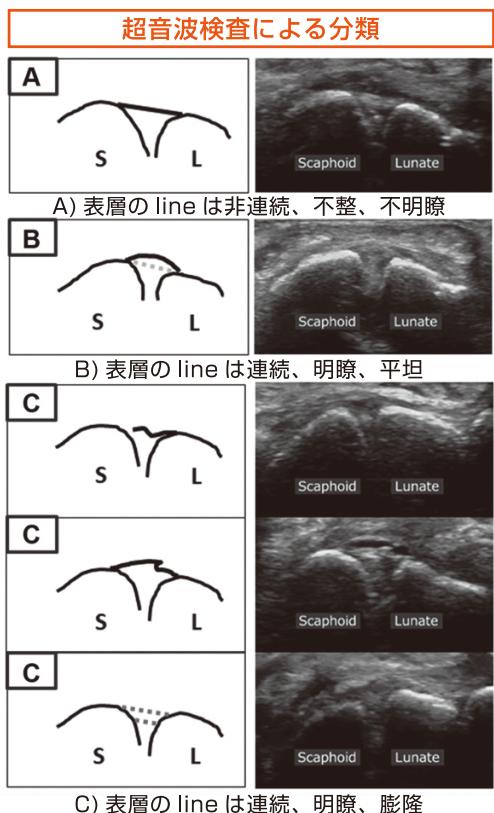
【Abstract】

橈骨遠位端骨折には舟状月状骨(SL)靭帯損傷が伴う頻度が高いが、X線検査では見逃されることがあります。本研究の目的は、SL靭帯損傷に対する超音波検査の診断分類を作成し、その診断精度を評価することです。

本研究では橈骨遠位端骨折患者40例に対し超音波検査と手関節鏡検査をそれぞれ行いSL靭帯を評価しました。超音波検査では靭帯表層の輪郭、連続性を評価することで靭帯損傷を分類することができました。超音波検査による靭帯損傷(GeisslerⅢ度以上)の診断精度は感度64%、特異度93%でした。また、超音波分類のtypeAに絞ってみてみると、17例全てがGeisslerⅡ以下でありtypeAを確認できれば治療不要と考えることができます。

【臨床応用への可能性】

超音波検査は非侵襲的で簡便であり、SL靭帯損傷の評価において有用と考えます。橈骨遠位端骨折においては靭帯損傷が否定できれば術後早期に可動域訓練を開始することができます。



J Hand Surg Am. • Vol. 45, December 2020

SCIENTIFIC ARTICLE

Ultrasonographic Classification of Scapholunate Interosseous Ligament Injury Associated With Distal Radius Fracture

Takahiro Kashiya, MD,* Toshiki Miura, MD, PhD,* Runa Sugawara, MD,* Kosuke Uehara, MD†

関節鏡検査による分類 (Geissler)



Geissler WB, J Bone Joint Surg ,1996

超音波分類と関節鏡分類の関係

TABLE 1. Relationship Between Ultrasonographic and Arthroscopic Classifications*

Ultrasonography Type	Arthroscopy Grade				
	0	1	2	3	4
A	13	2	2	0	0
B	2	2	6	4	0
C	0	1	1	7	0

*Data reflect the number of patients.

超音波検査の診断精度

- 感度 64 % (7/11)
- 特異度 93 % (27/29)
- 正確度 85 % (34/40)

【略歴】

2001年：聖光学院高等学校卒業
2007年：新潟大学医学部卒業
初期臨床研修：名戸ヶ谷病院
2009年：東京大学整形外科学教室入局
その後の勤務先：名戸ヶ谷病院、東京大学医学部付属病院、日本赤十字社医療センター、健康長寿医療センター、せんぽ東京高輪病院、東京大学医学部附属病院助教、JR東京総合病院医長

資格：日本整形外科学会専門医、日本手外科学会認定手外科専門医、日本整形外科学会認定リウマチ医

専門分野：手外科、上肢外科、外傷一般

得意とする診療領域：手外科、上肢外科、外傷一般

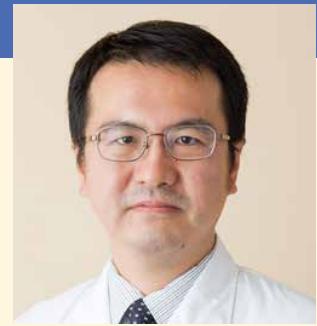
今後取り組みたい分野・治療：上肢における関節鏡視下手術

【趣味と直近の成績】

硬式テニス (2022 某区民大会 男子ダブルス準優勝)、
ヒルクライム (2020 富士ヒルクライム : 1時間13分)

診療科のご紹介

消化器内科

部長 ひら の けん じ
平野 賢二

2021年度は常勤医4人体制を組むことができ、院内でも最高のパフォーマンスを発揮していましたが、2022年度は1人減っての3人体制となっています。部長の平野は赴任して8年になります。胆膵領域を専門としていますが、2020年度の消化器内科1人体制の時にありとあらゆる患者を外来で診ることになり近年は何でも屋という感じになってきました。横浜市大から医師2人の派遣を受けており、山田先生は昨年度からの残留、三箇先生が4月からの赴任になります。山田先生は消化管のスペシャリストであり、早期癌のESD、進行癌の化学療法、止血処置、胃瘻造設など消化管関連のことは安心して任せられる存在です。三箇先生は胆膵が専門なのは部長とかぶりますが、それに加えて肝臓の専門医もあります。周辺の有名病院との比較において肝癌のラジオ波治療、TACE、小腸内視鏡を行っていないのが弱点になりますが、他は大病院と遜色ないレベルと自負しております。常勤医は3人ですが、精鋭揃いです。人数は減りましたが昨年に劣らないパフォーマンスを目指して頑張ります。



外科

部長 くろ かわ とし あき
黒川 敏昭

緊急対応が必要な患者さんは 24時間365日間受け入れる努力をしています

胃、大腸肛門、肝胆膵などの消化器外科、乳腺外科を中心に診療を行っています。中規模病院のメリットをいかし、消化器内科や他科と密接に連携し、小回りのきくスピーディーな医療を心掛けています。また、緊急対応が必要な患者さんも積極的に受け入れています。合併症・併存症の多い患者さんや高齢の患者さんに対しては他職種で連携し安全に治療が行えるように努めています。

<当科の特徴>

- ・胃癌および大腸癌、胆石症胆囊炎、急性虫垂炎、鼠径ヘルニア手術においては腹腔鏡下手術を積極的に取り入れています。また、膵IPMNやMCNなどの低悪性度腫瘍に対しても腹腔鏡下手術を第一選択としています。
- ・肝胆膵悪性疾患（原発性肝癌、転移性肝癌、胆囊癌、胆管癌、十二指腸乳頭部癌、膵癌）に関しては、日本肝胆膵外科学会高度技能指導医である山本院長のもと手術を含めた集学的治療を施行しています。
- ・消化管穿孔、腸閉塞、ヘルニア嵌頓など緊急対応が必要な患者さんを24時間体制で受け入れています。
- ・乳癌診療においては吉本賢隆医師（よしもとブレストクリニック院長）とともに乳房温存手術を中心にして、手術侵襲の軽減と整容性の保持に努めています。

<当科のスタッフ>

現在当科は、山本院長（日本外科学会専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医・指導医）、黒川（日本外科学会専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医・指導医）、加藤大貴、青木容子、本間雄貴、そして非常勤の小山医師（前副院長）、吉本医師で診療を行っております。

他院で造設した胃瘻のチューブ管理（定期的なチューブ交換）や中心静脈ポート管理などで困っている患者さんに対しても迅速に対応いたします。気兼ねなくご紹介ください。

令和4年度 新任医師のご紹介



とおい さとる
遠井 悟

循環器内科

出身大学・最終学歴：東邦大学 平成21年卒
専門分野：血管内治療（カテーテルインター
ベンション）
得意とする診療領域：末梢動脈疾患（重症下肢
虚血）、透析シャントトラブル血管内治療、睡
眠時無呼吸症候群
今後取り組みたい分野・治療：
港区・品川区の地域医療に微力ながら貢献で
きるように頑張ります。



さんかく かつゆき
三箇 克幸

消化器内科

出身大学・最終学歴：北里大学 平成23年卒
専門分野：胆道、膵臓疾患
得意とする診療領域：上記に対する内視鏡治
療、薬物療法
今後取り組みたい分野・治療：
上記を継続



いなば たろう
稲葉 大朗

腎臓内科

出身大学・最終学歴：昭和大学 平成25年卒
専門分野：腎疾患、血液浄化分野
得意とする診療領域：慢性腎不全・急性腎不全
領域
今後取り組みたい分野・治療：
血液・腹膜透析の拡充や腎炎領域への取り組
みを検討しております。



しらさわ ゆうじ
白澤 祐二

内科

出身大学・最終学歴：群馬大学 平成28年卒
専門分野：内科
得意とする診療領域：ICU、気道確保、抗生素
今後取り組みたい分野・治療：
抗がん剤



かとう だいき
加藤 大貴

外科

出身大学・最終学歴：筑波大学 平成28年卒
専門分野：外科
得意とする診療領域：
今後取り組みたい分野・治療：
JCHO高輪では、全般的に診療させていただき
ます。よろしくお願い申し上げます。



はんま ゆうき
本間 雄貴

外科

出身大学・最終学歴：順天堂大学 平成31年卒
専門分野：
得意とする診療領域：
今後取り組みたい分野・治療：
小児外科



やまぐち ひろき
山口 弘貴

整形外科

出身大学・最終学歴：日本医科大学 平成26年卒
専門分野：膝・股関節外科、整形外科一般
得意とする診療領域：変形性膝関節症・変形性
股関節症など
今後取り組みたい分野・治療：
人工関節手術、骨切り手術など、リハビリテ
ーションなど併用しながら老若男女問わず抱
える関節痛の改善に取り組んで参ります。



さいとう そうぞう
斎藤 創造

歯科口腔外科

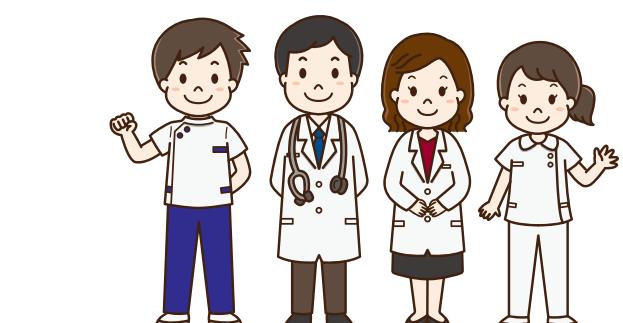
出身大学・最終学歴：昭和大学 平成31年卒
専門分野：歯科口腔外科
得意とする診療領域：歯科口腔外科
今後取り組みたい分野・治療：
インプラント埋入術、顎矯正手術



とくなが ともこ
徳永 智子

健康管理センター

出身大学・最終学歴：長崎大学 平成10年卒
専門分野：内科・消化器内科
得意とする診療領域：
今後取り組みたい分野・治療：
質の高い健診が提供できるよう、予防医学の
知識を深めていきたいです。



平素より患者様のご紹介等につきまして、諸先生方には格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。当医療連携患者支援センターでは、地域の医療機関と密接に連携し「病診・病病連携」を積極的に進めております。今後もみなさまと連携を図りながら地域医療に貢献し、患者さん中心の医療を行なって参ります。皆様方の
より一層のご指導とご支援の程よろしくお願い申し上げます。当院についてご不明な点・ご意見、ご要望等
ございましたら、お気軽にご相談ください。